



ミクロネシア NEWS

2018年11月20日第3号
JICA 青年海外協力隊
ミクロネシア連邦派遣
小学校教育隊員
磯崎 春美（中野区立江原小学校）

江原小学校のみなさん！カセレーリエ！（ポンペイ語でこんにちは）磯崎春美です。このお便りを書く時は、みなさんが今どんなことをしているのか知るために江原小学校のホームページを見ています。特に校長先生の日記で日々の様子を知ることができてとても懐かしく、嬉しいです。先週は研究発表会があったのですね。みなさんが頑張っている様子、先生たちの様子、とても見たかったです。算数の力を磨くことは将来いろんなことに役に立ちます。そして全世界で役に立ちます。遠く離れたポンペイでも算数を今まで勉強してきた経験が役立っています！楽しく、そして疑問を持ち続けることを大切に勉強に取り組んでいってくださいね。

最近、2年生の授業で九九を始めました。先生たちはできる子ばかりを当てて九九の暗唱をさせることが多いため、できない子は置いていけぼりになってしまっていました。みんなが楽しく一生懸命九九に挑戦できないかなあと考えて、日本の学校でやっていた九九チャレンジカードをつくりました。自分で成果が分かるため、一生懸命取り組んでくれています。できると嬉しい、わかると嬉しい気持ちをみなさんも、こちらの子供たちも大切にしていってほしいなあと思います。

さて、小学校での仕事を初めて4カ月が経ちました。最近はおいしい食べ物をたくさん見つけて食べているのでどんどん体が大きくなってきたような気がします。

今回はポンペイの素敵な場所についてお知らせするつもりでしたが、出かける機会が少なくあまりいい場所を発見できなかったため、テーマを「ポンペイの文化」に変えて紹介したいと思います。

文化①民族衣装 「ポンペイ・スカート」

日本でいう着物のように、海外には様々な民族衣装があります。ここ、ポンペイ島では「ポンペイスカート」がとても有名です。黒い生地スカートに様々な柄の花をミシンで縫い付けていきます。一つひとつが現地の女性による手作りです。なので同じ柄のものはほとんどなく、それぞれのスカートが個性的です。脇までスカートを上げて、ワンピースのように着ている人もいました。私もいまオーダーメイドのポンペイスカートを注文しています。



文化②伝統行事 「収穫祭～カマデップ～」

ミクロネシアポンペイ州は5つの集落に分けられています。その5つの村ごとにナンマルキというキングがいて、村を統治しています。カマデップという収穫祭では、現地ですとれる農作物が旬の時期をむかえるにあたり、その農作物を持ち寄ってキングにお供えをし、収穫に感謝する行事です。農作物はもちろんのこと、各家庭から大量の食べ物、おかし、豚、サカオ（現地のお酒）などが持ち寄られます。中にはトイレットペーパーや、扇風機、毛布を持ってくる人もいます。



キングに食べ物を捧げたあと（ナースと呼ばれる伝統的な小屋の前方にすべて集める）、各家庭に分配されます。朝から始まり、夕方ごろまで行われます。その間には踊りや歌、キングのスピーチがあったりと盛りだくさんの内容です。このお祭りの間、現地の人たちはサカオというお酒を飲み続けていました。

文化③現地のお酒 「サカオ」

サカオは胡椒科の木の根から作られる、現地の伝統的なお酒です。見た目は泥水で、日本人が飲むとたいいていの人はお腹を壊します。サカオを飲むと気持ちが落ち着いてとてもいい気分になるそうです。また舌のしびれを感じろれつが回らなくなったりします。

サカオの作り方

1. サカオの根を洗って土をとる。
2. 石の台の上で根を叩き、水を足しながら細かくする。
3. ハイビスカスの木の皮をはぎ、細かくくだいたサカオを包む。
4. 木の皮をしぼって、根から出た汁をコップに注ぐ。



サカオにアルコールは含まれていませんが、沈静作用があるため未成年が飲むことは禁止されています。お祭りや週末、多くの人がサカオを飲んで疲れを癒します。

道端でもよくクーラーボックスに入ったサカオの瓶が売られています。わたしも何度か挑戦しましたが、お味はあまりよくありませんでした！



次回は現地の子どもの一日の様子をお伝えしたいと思います！